

後期高齢者、沖縄基地、偽装献金…鳩山政権の問題ただして

政治の流れをもっと国民本位に **日本共産党**



党府国民運動本部長・大阪市会議員

清水 亮

新しい政治を参議院でさらに

自公政治に厳しい審判が下り、新政権が発足して二ヶ月近くが過ぎました。日本共産党は、政治を一步でも二歩でも前に進め国民要求を実現するために、新政権の問題点をただして「建設的野党」の立場でがんばります。

沖縄基地

いまこそ撤去を

鳩山首相は選挙中「普天間基地は県外もしくは国外に移設」と明確に述べていました。ところが米国防長官が来日し、県内移設を迫ったとたんに、担当閣僚が県内移設を唱え始めました。そればかりか「(県外・国外移設は)公約ではない」(岡田外務大臣)などと居直っています。日本共産党は対米追従を転換させ、基地撤去へアメリカとの真剣な交渉を求めます。

後期医療

すぐに廃止を

国民の圧倒的世論は、「こんな差別制度はすぐに撤廃を」です。ところが首相は、「新しい制度」ができるまでは撤廃を先送りにするということです。いままで民主党も「いったん元に戻すことが非常に重要」と言ってきたのに重大な後退です。日本共産党はすみやかな撤廃を強く求めています。

献金疑惑

国会で集中審議が必要

鳩山首相の「偽装献金」問題も小沢幹事長の政治資金パーティーの虚偽記載疑惑も国民への説明責任が果たされていません。

「政治とカネ」をめぐる一連の疑惑について、日本共産党は集中審議をおこない、関係者の出席を求め、国民の前で徹底的な真相究明をおこなうことを要求します。

日本共産党大阪府委員会

電話：06-6762-8771 FAX：06-6768-5855

E-Mail：info@jcp-osaka.jp <http://www.jcp-osaka.net/>